

会 告

月 間 行 事 案 内

月	日	行	事	備	考
11月15日(木)～17日(土)		地震工学国内シンポジウム		10号	2ページ参照
11月17日(土)		第13回関東地区学生諸君のための映画会		10号	4 "
"		中部支部研究発表会		10号	6 "
"		第9回学生見学会(関西支部)		10号	9 "
11月19日(月)		第9回「風に関するシンポジウム」		11号	4 "
11月25日(日)		日本学術会議第6期会員選挙		10号	1 "
11月26日(月)～29日(木)		建設省認定宅地造成技術講習会(東京会場・申込締切 11月15日)		10号	4 "
11月27日(火)～29日(木)		「杭基礎の機械化」講演会および見学会(申込締切 11月15日)		11号	3 "
12月1日(土)		第1回学生のための映画会(関西支部)		11号	3 "
12月4日(火)～5日(水)		「土質材料の力学と試験法における最近の問題点」講習会(申込締切 11月24日)		10号	10 "
12月8日(土)		第10回学生見学会(関西支部・申込締切 11月26日)		11号	3 "
12月12日(水)～13日(木)		都市環境衛生に関する講習会(関西支部・申込締切 11月26日)		10号	9 "
12月13日(木)		日本工学会 講演と映画の会		11号	4 "
1月31日(木)		土木賞・吉田賞締切		10号	綴込
2月中旬		河川災害に関する水理学のシンポジウム		10号	5ページ参照
7月		RILEM シンポジウム開催		10号	5 "
その他毎月20日		「誌上写真コンクール」原稿締切			
		「読者の窓」原稿締切			
		「ロータリー」原稿締切			

日本学術会議 第6期 会員選挙立候補者推薦について

本年 11 月 25 日に行なわれる標記の件につき理事会において協議の結果、本学会ではつぎの3名の方を推薦しておりますのでお知らせいたします(50音順)。

石原 藤次郎君 (全国区第5部土木工学)

(昭和5年, 京都大学卒, 工学博士 京都大学教授 専攻 水理学)

最上 武雄君 (全国区第5部土木工学)

(昭和9年, 東京大学卒, 工学博士 東京大学教授 専攻 土質力学)

真井 耕象君 (北海道地方区第5部土木工学)

(大正14年, 九州大学卒, 北海道大学教授 専攻 交通工学)

第14回 関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルムライブラリーと共催の第14回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますから多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

1. 開催日時: 1962年12月15日(第3土曜日) 14.30～16.30
2. 会 場: 土木学会会議室(東京都新宿区四谷一丁目・外濠公園入口)
3. 上映映画: ①建設機械の取扱いと作業方法(トラクター, パワーショベルとダンプカー, モーター・グレーダー) ②製鉄

Civil Engineering in Japan, 1962 の広告掲載について御願い

Civil Engineering in Japan は日本の土木技術を広く海外へ紹介するため、土木学会海外連絡委員会が中心となり本年4月ようやく1961年版を刊行、ひきつづき1962年版を明年2月刊行を目標に目下編集集中です。この機会に日本の代表的な建設、材料、建設機械、コンサルタント、貿易関係などの紹介を行ないたいと思いますので、広告を御掲載下さいますよう御案内申し上げます。御問い合わせは土木学会編集部 (Tel. 351—5138) へお願い致します。

第9回海岸工学講演会講演集(1962)頒布について

海岸工学講演会も今年は9回を数え、その間毎年講演集を刊行し、講演会に出席できなかった方に非常に好評をほくしております。本年もとくに講演会に出席できなかった方のために余部をつくりましたのでご希望の方は直接学会へお申込み下さい。

体 裁 : B5判 162ページ 図・表多数、上質紙使用 内 容 : 講演総数 31編を図表を用いてわかりやすく集録
頒 価 : 1000円 (〒100円) 会員特価 : 800円 (〒100円)

第7回水理講演会講演集頒布について

本書は去る10月15日行なわれた第7回水理講演会に使用された講演集です。本書はとくにわが国の水理学研究の二、三のすう勢がわかるように13編の論文を課題別に編集しましたので、ご希望の方は直接学会までお申込み下さい。

体 裁 : B5判 82ページ、オフセットタイプ印刷
内 容 : (A) モデルエフェクト4編 (B) コンピューターの水理学への応用3編 (C) タービュレンス6編
頒 価 : 400円 (〒40円) 会員特価 : 350円 (〒40円)

「読者の窓」欄の設置について

会員同志のお互いの連絡を処理し、より学会誌を御利用していただくために従来は会員欄を拡張した「読者の窓」という欄を会誌上に常置することといたしました。次の要領により御気軽に御利用願います。

1. 内 容 : ① 建設機械、測定、実験器具などの譲渡、交換、購入、等の相互連絡。
② ほしい文献、ゆずりたい文献、借用したい文献(設計・実測データなども含む)等の相互連絡。
③ その他、会員に知らせたいこと、言いたいこと、知りたい事項、等。
2. 投稿要項 : ① 会員資格、勤務先住所、電話番号、年令などをハガキに記入して(特別会員の場合は事業所名、住所、電話番号、担当者氏名)学会編集部へ御送付下さい。
② 掲載された連絡事項の交渉、問合わせ、等はすべて当事者間で解決して下さい。学会は直接タッチいたしません。結果については発表しません。
③ 原稿のの締切りは毎月20日、用紙は原則としてハガキを使用して下さい。編集上さしつかえない限り翌月号の会誌へ登載いたします。

「誌上写真コンクール」について

会員各位の写真技術の向上と、より親しみやすい学会誌を作るために、学会誌の一部を割いて会員による「誌上写真コンクール」を行ないたいと存じます。全国各地からふるって多数御応募下さい。

1. 内 容 : 1961年度中に完成した土木構造物(必ずしも大工事に限りません)および現在工事中の構造物の完成または工事中の写真で技術上のポイントをつかみ、かつ芸術的価値の高いと認められるもの。
2. 募集要項 : ① 応募資格は土木学会個人会員に限ります。② 応募作品は雑誌などに未発表のものを原則とします。③ 応募作品の審査は土木学会誌編集委員会があたります。④ 当選作品の著作権は土木学会に帰属し、学会誌上に逐次登載いたします。⑤ 学会誌編集費の一部より次の賞金を支払います。
1等 毎月1件 5000円 2等 毎月1件 3000円 佳作 若干名 記念品
- ⑥ 応募に当っては次の点を御厳守下さい。
a) 写真の締切りは毎月20日とします。
b) 写真の大きさはキャビネ版以上で必ずネガを添付すること(カラーは不可)。採用されない場合ネガは返却いたします。
c) 撮影者会員資格、勤務先また連絡先、職名、氏名、撮影データ(使用フィルム名、露出、使用カメラ名など)、各写真に対する簡単な説明、撮影の意図などを明記して下さい。
d) 応募は1件あたり3点以内とし、1人あたり3件以内とします(合計9枚以内)。

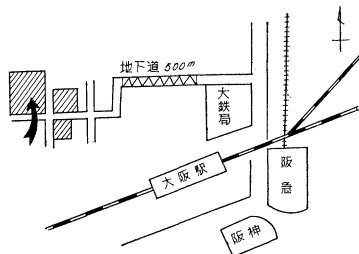
関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーションビル 4 階)
(電大阪 (716) 7881~9 番 (内線 335 番) 振替口座大阪 82599 番)

(1) 第 10 回学生見学会 (工場見学会)

1. 期 日: 1962 年 11 月 8 日 (土)
2. 見学先: ブルドーザー工事大阪工場, 酒井鉄工所
3. 参加者資格: 土木学会学生員 (ただし申込期限までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正員も有効)
4. 集 合: 12 月 8 日 12 時 50 分までにブルドーザー工事大阪工場 (大阪市大淀区大仁東 1 の 39・tel (451) 0021) へ集合
5. 行 程: 13.00 ブルドーザー工事大阪工場見学——14.00 発
——14.30 酒井鉄工所見学——16.00 発——17.00 大阪駅着解散
6. 定 員: 100 名
7. 参加費: 50 円
8. 申込期限: 1962 年 11 月 26 日 (月)
9. 申込要領: 参加希望者は 学校名 および氏名を明記の上参加費 50 円を添えて各大学の学生班長を経由の上 11 月 26 日 (月) までに土木学会関西支部へお申込み下さい。
10. 定員超過の場合の処理: 申込期限内に定員を超過した時は大学別に員数の割当てをいたしますからお含みおき下さい (学生班長は申込先順位番号を付して一括申込して下さい)。

集 合 地 略 図



(2) 学生のための映画会 (第 1 回)

1. 日 時: 1962 年 12 月 1 日 (土) 13 時~16 時 30 分
2. 場 所: 京都大学工学部共同第 1 講義室
3. 参加者資格: 土木学会学生員
4. ①上映映画: 第 5 防波堤建設の記録 (18分) ②大阪環状線安治川橋梁 (15分) ③新しい保線 (18分) ④建設進む名神高速道路 (15分) ⑤神戸の埋立 (25分) ⑥新阪急ビル建設にかかる地下工法の記録映画 (28分) ⑦建設の機械化道路編 (30分) ⑧サンドドレーン工法の実験 (25分) ⑨城ヶ島大橋 (17分)
5. 定員 270 名 (満員の節はお断わりすることがあります)
6. 参加費: 無料

(3) 「杭基礎の機械化」講演会および見学会

1. 主 催: 日本建設機械化協会関西支部
協賛 土質工学会関西支部・日本建築学会近畿支部・土木学会関西支部
2. 申 込 先: 大阪市東区谷町 1 丁目 50 番地 大手前建設会館内 日本建設機械化協会関西支部 電話大阪 (941) 8845 番
3. 日 時: 1962 年 11 月 27 日 (火) 9 時開場
4. 場 所: 大手前会館 (大阪市東区京橋前之町 2) 電話 (941) 1138・1201 番 市電=東阪東口下車南 50 メートル
5. 題目と講師

9.30~9.40	挨拶	日本建設機械化協会関西支部長	吉川 吉三
① 9.40~10.10	杭基礎について	京都大学防災研究所教授	工博 村山 鈞郎
② 10.10~11.25	杭基礎の理論	京都工芸繊維大学建築工芸学科助教授	工博 山 肩 那 男
③ 11.25~12.40	最近の基礎杭工法について	元日本国有鉄道技師	小 竹 秀 雄
④ 13.20~14.20	リバースサーキュレーションドリルについて	日本国有鉄道東京採機事務所技師	高 岡 博
⑤ 14.20~16.30	展示会場出品機械について (各社 13 分)		
	石川島播磨重工業KK, 浦賀船渠KK, 汽車製造KK, 久保田鉄工KK, KK 神戸製鋼所, 新三菱重工業KK, ダイハツ工業KK, 日平産業KK, KK 日立製作所		
⑥ 16.30~17.30	アメリカの基礎工学研究施設を見て	神戸大学工学部教授	工博 谷 本 喜 一
6. 聴 講 料: (テキスト代を含む) 700 円 (主催・協賛団体会員), 1 000 円 (一般)

7. 見学会
 (i) 期 日 1962年11月29日(木)
 (ii) 見学先 関西地区の代表的工事現場
 (iii) 参加費 500円(バス代、昼食代とも)
 詳細は参加章にて連絡します。
8. 申込期限: 1962年11月15日(木)
9. 申込方法: 参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および所属団体名を明記して上記聴講料、見学参加費を添えて11月15日(木)までに日本建設機械化協会関西支部へお申込み下さい。参加章をお送りします。納金されたものは返却いたしませんから御了承下さい。
10. テキスト: テキストのみの希望者には1部450円(別に送料50円)でお頒ちします。
11. 展示会: (機械およびパネル)
 (i) 日 時 1962年11月27日(火)~29日(木)の3日間 9時~16時
 (ii) 場 所 近畿地方建設局大阪機械整備事務所(大阪市此花区春日出町330)
 (iii) 入場無料(大阪駅前より無料バス運転)
12. 映画会: (上映映画目下選定中)
 (i) 期 日 1962年11月28日(水)
 (ii) 場 所 展示会場と同じ
 (iii) 入場無料
 詳細は当日会場で発表いたします。

(4) 都市環境衛生に関する講習会(1962年12月12日・13日2日間)

詳細は学会誌10月号を御覧下さい。

第9回 風に関するシンポジウム 開催について

標記シンポジウムを下記により開催いたしますので多数御参加下さい。

1. 日 時: 1962年11月19日(月) 9.00時より
2. 会 場: 建設省建築研究所講堂(新宿区百人町3丁目)
3. 研究発表(9.00~15.00)
- | | |
|--|------------------------|
| 1) 振動する円筒とその付近の流れについて | 石崎澁雄・川村純夫・柱 順治(京大防災研) |
| 2) 建造物に対する設計風速のきめ方について | 齋藤謙一(気象庁) |
| 3) 建物の後のウエークの形を変える一方法について | 坂上治郎(お茶の水大) |
| 4) 建物の屋根に作用する風圧変動について | 石崎澁雄・許 昌九(京大防災研) |
| 5) 第二室戸台風による奄美大島の住家の被害と地形の避へい効果について | 立川正夫(鹿工大) |
| 6) 競技球場内の風について | 岡本哲夫・八木田幹(東工大) |
| 7) 波の上の風速の高度分布 | 竹田 厚(東大理) |
| 8) 瞬間最大風速について | 光田 寧(京大防災研) |
| 9) 山越風の研究(5)——山の風下の強風地の大気気温逆転層に関する1,2の知見—— | 鈴木清太郎(気象庁)・矢吹万寿(大阪府立大) |
| 10) 局地風の相似則について | 根本 茂(気象研) |
| 11) 熱格子下流の温度変動の測定 | 相馬清二(気象研) |
| 12) 接地気象における乱れのスケールについて | 竹内清彦・横山長久(気象庁) |
- 特別講演(15.30~17.00)
- | | |
|--------------|------------|
| 1) 確率を入れた風荷重 | 高橋浩一郎(気象庁) |
| 2) 風の測定法 | 佐貫亦男(東工大) |
4. 主 催: 日本気象学会・土木学会・外関係7学協会

日本工学会講演と映画の会ご案内

日本工学会では下記のとおり、講演と映画の会を開催いたしますので多数お誘い合せのうえ御来場下さい。

記

- 日 時: 1962年12月13日(木) 14.00~16.00
- 会 場: 日仏会館講堂(千代田市神田駿河台2の3・国電お茶の水駅下車、軌道にそって水道橋方向に徒歩約5分、右側)
- 演 題: 深海研究とバチスカーフ 東京水産大学教授・日本海洋学会会長 佐々木忠義
- なお、佐々木忠義教授は親しくバチスカーフに乗りこみ研究された海洋研究の権威者で、美しいカラー映画とともに深海の神秘を解明して頂くために特にお願いしたものであります。